JR 九州グループ健康宣言

ＪＲ九州グループは、社員が元気に“いきいき”と活躍することが、
会社や地域の元気をつくるうえで最も大切であると考えます。
ＪＲ九州グループのあるべき姿「安全とサービスを基盤として
九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」を目指して、
一人ひとりが能力を最大限に発揮できるよう、
社員の心と体の健康づくりに積極的に取り組みます。

JR 博多シティ　健康づくり宣言

JR 博多シティは

① 社員一人ひとりのこころとからだの健康は、会社を支える大切な力である
② 社員とその家族が安心して幸せに過ごせることこそ、私たちが大切にしたい価値である
という想いをもとに、全社員がいきいきと働ける職場づくりに取り組んでいきます

健康経営への取り組み方針

1. 経営トップのコミットメント

経営トップ自らが先頭に立ち、健康経営の重要性を発信し、社員の健康保持・増進に取り組みます。健康経営の推進を通じて、働きがいと働きやすさを両立した組織づくりを目指します。

2. 組織的な健康づくりの推進

衛生委員会を中心に、職場における安全・健康課題の共有と改善を継続的に実施しています。運動・食生活・睡眠など日常の健康行動を見直す機会を提供し、社員一人ひとりの健康意識向上を図ります。また、社員アンケートを通じて健康意識や職場環境に関する声を把握し、施策の見直し・改善に活かしています。

3. 働きやすい環境づくり

労働時間の適正管理や長時間労働の防止に取り組み、社員一人ひとりのライフスタイルや働き方の多様性を尊重し、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）を図るため、スーパーフレックス制度やテレワーク制度を整備しているほか、「連続 5 日以上の休暇」取得を推奨しています。（連続 5 日以上の休暇取得率目標 85%）

4. 心身の健康保持・増進

健康診断・人間ドックの受診促進メンタルヘルス対策、適切な労働時間管理を柱とし、社員が安心して長く働ける環境を整備します。

5. コミュニケーションと風通しの良い職場環境づくり

職場内のコミュニケーションを大切にし、固定席を設けないフリーアドレス制度を導入しています。また相談しやすくハラスメントのない、風通しの良い職場環境の実現に努めます。

6. 継続的な改善

各種取り組みについては、PDCA サイクルに基づき効果検証を行い、社員の声を反映しながら継続的な改善に努めています。

当社は、これらの取り組みを通じて、社員とともに健康づくりを推進し、明るく活力ある企業を目指し、社会に貢献してまいります。

具体的な健康宣言（重点分野）

1. 特定健診・特定保健指導の受診促進

35 歳以上の社員を対象に、年 1 回の特定健診の確実な受診を行い、健診結果を通じて自身の健康状態を正しく把握できる環境を整えます。また、必要に応じて特定保健指導の利用を推奨し、生活習慣病の予防につなげます。

目標：特定健診受診率 100%、特定保健指導利用率 100%
※衛生委員会にて産業医と受診状況・結果を共有し、進捗管理を行います。

2. がん検診の受診率向上

年 1 回の人間ドック受診を通じて、がんの早期発見・早期対応を促進します。特に女性特有のがん検診については、会社負担により受診しやすい環境を整えています。

目標：人間ドック受診率 100%

3. 食生活の改善支援

特定保健指導を通じて、社員一人ひとりが自身の食生活を見直す機会を提供し、生活習慣病の予防に取り組みます。特に朝食喫食率（現状 50%）を向上させる取組みとして、設置型社食を常設し、一部費用を会社負担とすることで、社員がいつでも手軽に朝食を喫食できる機会を提供します。取り組み状況は衛生委員会で定期的に確認します。

目標：朝食喫食率 60%

4. 運動習慣の定着

日常的に体を動かすきっかけづくりとして、社内清掃日を除き、原則毎営業日に朝礼前のラジオ体操を実施し、運動習慣の定着を図ります。また部署の垣根を越えて全社員で楽しみながら取り組む歩活イベントを実施し、健康づくりの活動を推進していきます。

目標：歩活イベント参加率 50%

5. 禁煙・受動喫煙防止

健康増進法に基づき、職場における受動喫煙の防止に取り組み、社員が安心して働ける環境を維持します。

6. 歯科口腔保健・健康意識向上

従業員を対象に、定期的に、歯科口腔保健を含む健康づくりに関するセミナーを開催し、健康意識の向上を図ります。

当社は、これらの取り組みについて衛生委員会を中心に PDCA サイクルによる検証・改善を行い、社員の健康保持・増進を通じて、活力ある企業づくりを目指してまいります。

2026 年 4 月
株式会社JR博多シティ
代表取締役社長執行役員 赤木征二